

令和6年6月

赤十字会員増強運動月間 第一号贈呈式

日本赤十字社の会員増強運動月間が5月1日に始まったことを受け、同日沖縄県庁において、赤十字会員増強運動月間の活動資金第一号贈呈式が執り行われました。

日本赤十字社沖縄県支部長の玉城デニー知事は、贈呈に際して、県民に「赤十字の人道支援活動は、皆様から寄せられる善意の浄財により可能となる」と呼びかけ、国内外での日赤の活動を紹介。また、昨年沖縄県に寄せられた台風第6号災害義援金約6,700万円のうち、約6,400万円は赤十字を通して集められたことにも触れました。

贈呈式では、県金融協会の与儀会長（大同火災海上保険（株）社長）から



県金融協会と与儀会長（左から3人目）と玉城支部長（同4人目）

玉城支部長に対して、活動資金第一号となる300万円が贈呈されました。

赤十字会員増強運動月間は5月31日までですが、活動資金は年間を通して集めています。

令和6年 全国赤十字大会開催

5月15日、明治神宮会館（東京都）にて、令和6年全国赤十字大会が日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご臨席のもと執り行われました。



本社エントランス前ロビーにて大会参会者記念撮影

沖縄県支部からは、地区分区長として初の参加となる友寄 景善大宜味村長をはじめ、地区分区職員や奉仕団員など理事・事務局を含めた総勢20名が参会しました。

大会には全国から集まった会員・ボランティアの代表約1600人が出席。有功章等の授与・表彰の後、イスラエル・ガザ地区へ医療支援のため派遣された看護師による紛争地での活動報告や能登半島地震の被災地大学生による奉仕団活動報告がありました。

式典終了後の特別プログラムでは、能登高等学校書道部員が、被災者としての思いを込めたダイナミックな書道パフォーマンスで会場を魅了し、参会者に感動を与えました。